

愛知における 労働災害の動向と施策

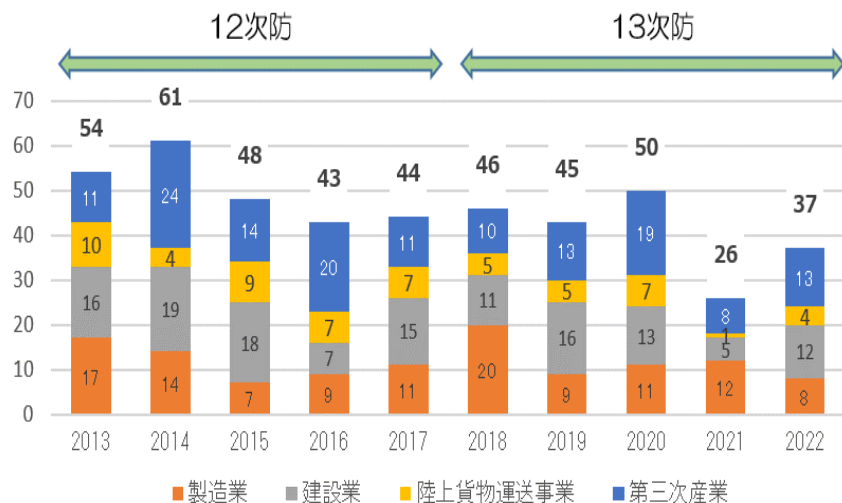
次のように略して記載しています。

- 第1 2次労働災害防止推進計画 → 1 2次防
- 第1 3次労働災害防止推進計画 → 1 3次防
- 第1 4次労働災害防止推進計画 → 1 4次防

労働災害の動向ほか

13次中の労働災害発生状況

死亡者数

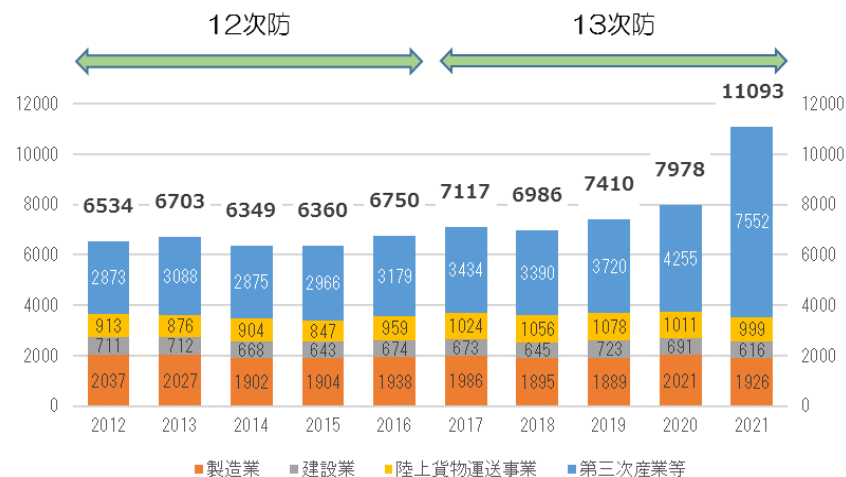


◆ 全業種目標：死亡者数40人を下回る。

◆ 重点業種目標：製造業・建設業で死亡者数7人を下回る。

■ 全業種では2021年、2022年に40人を下回った。

死傷者数



◆ 6,400人以下を目指す。

■ 最近の10数年間は減少停滞。
13次防期間中に増加に転じた。

■ 製造業、建設業、陸上貨物運送事業等

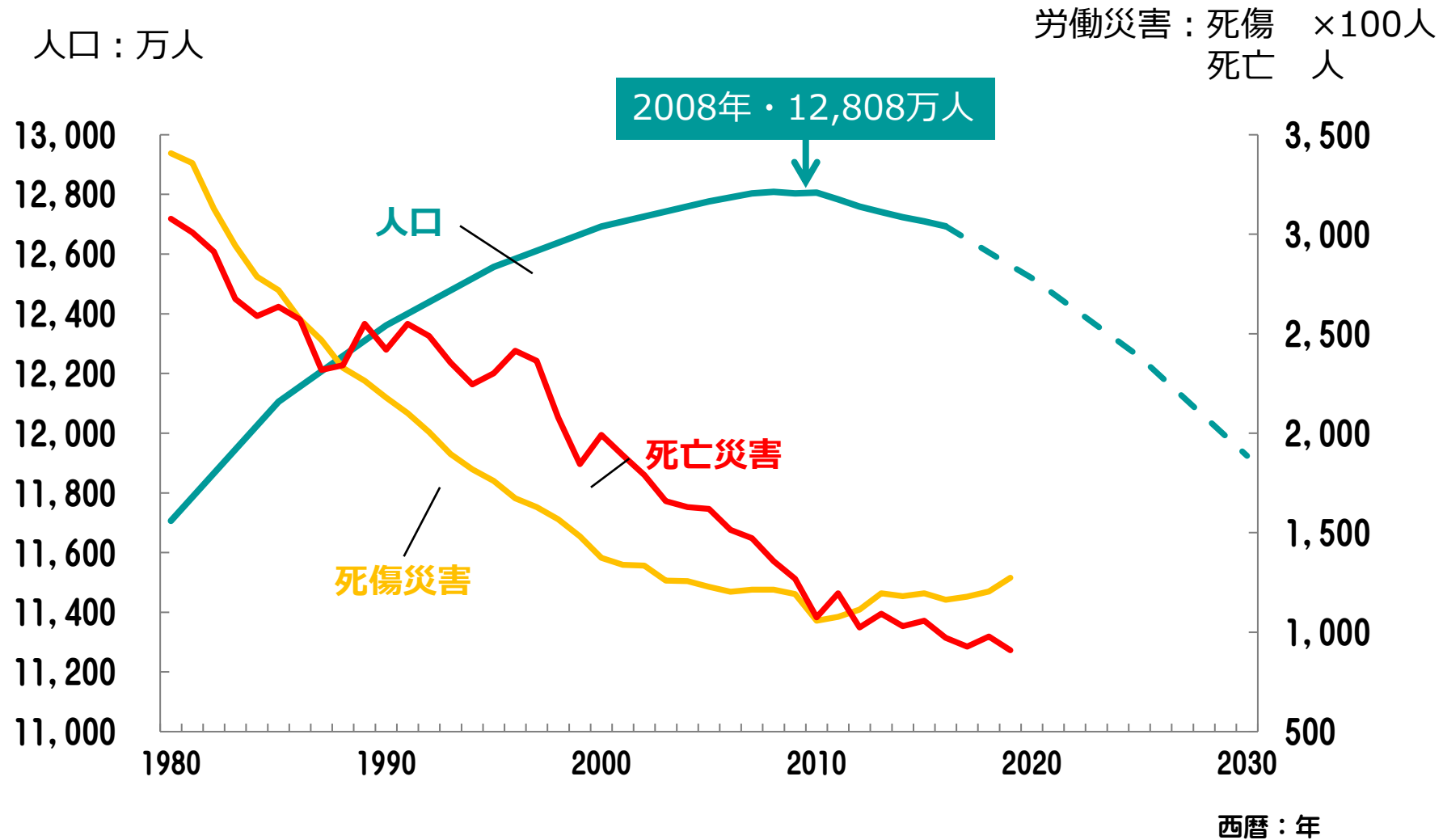
→ ほぼ横ばい

→ 大幅増加

第三次産業

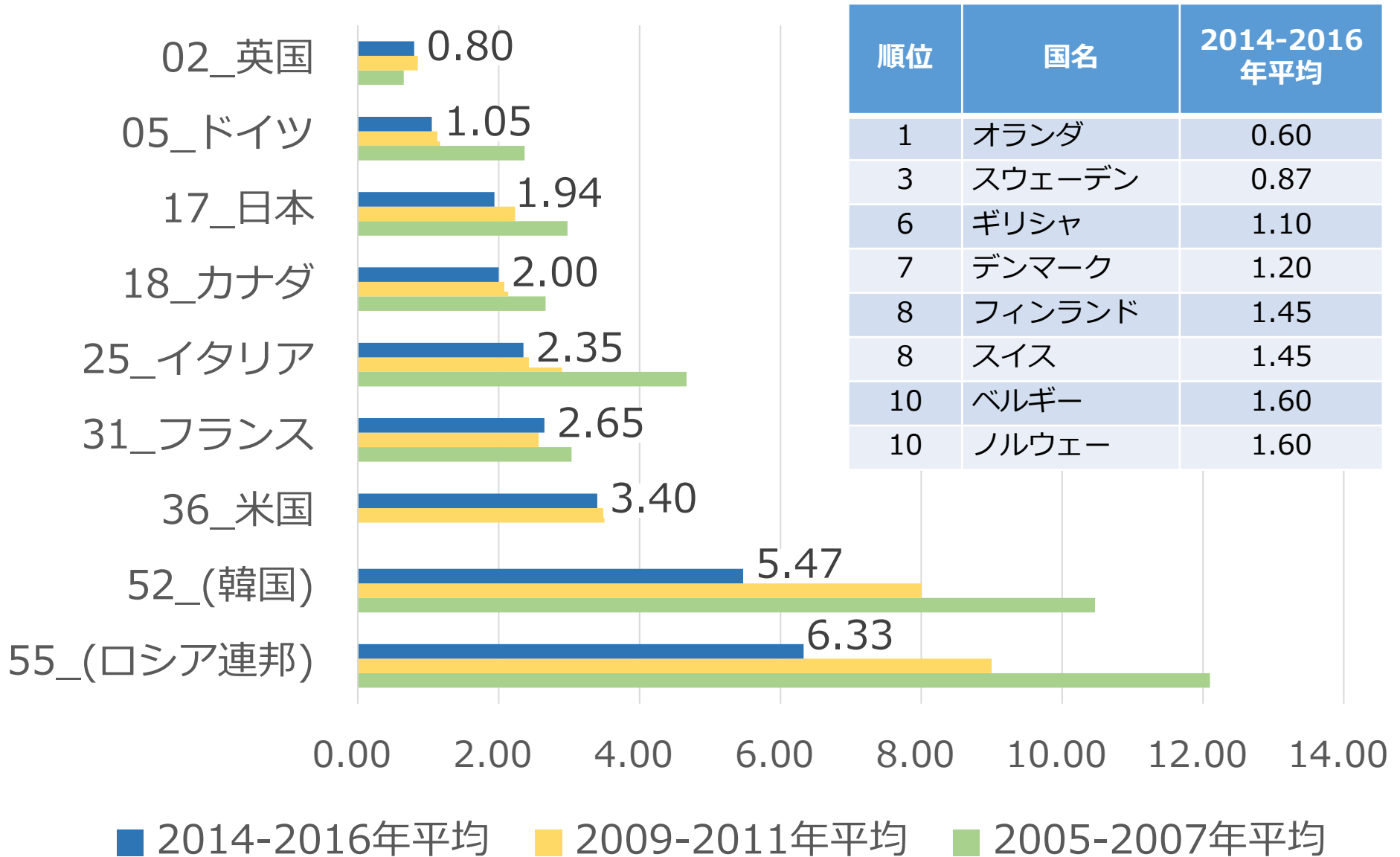
構造上の課題

人口推移と労働災害



資料出所：人口 1990年～2016年「人口の推移と将来人口」総務省統計局
2020年から「推計結果比較表」国立社会保障・人口問題研究所
労働災害 厚生労働省（死傷災害は、休業4日以上）

人口10万人あたりの死亡労働災害数



出所：中央労働災害防止協会

1 4 次 防 の 概 略

14次防 計画のねらい

(1) 計画が目指す社会

自律的でポジティブな安全衛生管理を促進し、働く人々の安全・健康確保を通じ、企業、社会の**ウェルビーイング (Well-being)** を実現する。

(2) 計画期間

2023年度から2027年度までの5か年を計画期間とする。

(3) 計画の目標

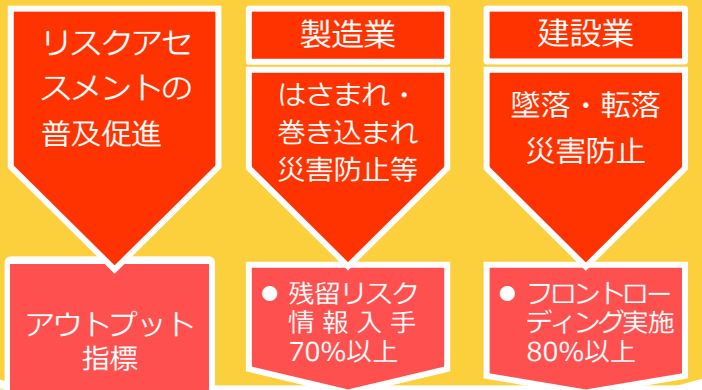
愛知労働局、事業者、労働者等の関係者が一体となって、一人の被災者も出さないという基本理念の実現に向け、各指標を定め、計画期間内に達成することを目指す。

アウトプット・アウトカムと全体像

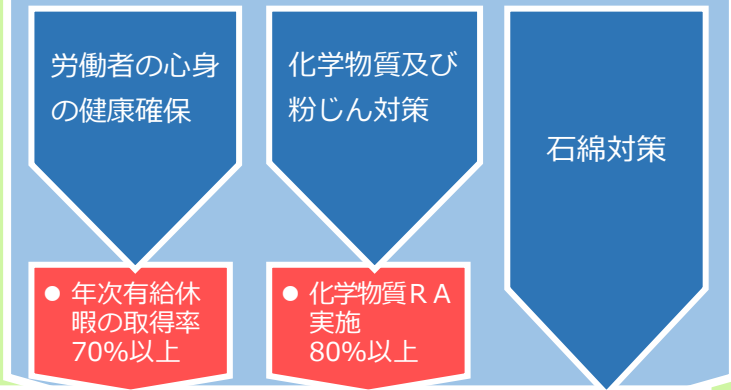


「安全経営あいち賛同事業場制度」の運用

重篤な労働災害の防止



総合的な健康対策



● 「安全経営あいち賛同事業場」 1000事業場以上

アウトカム指標

- 製造業死亡災害 6人を下回る
- 建設業死亡災害 5人を下回る
- 死亡災害 早期に、25人を下回る
- 死傷災害 増加傾向に歯止めをかけ、死傷年千人率を減少に転ずる
- 工業中毒による死傷災害 7人を下回る
- 定期健康診断有所見率 上昇率0%以下とする

計画のねらい

- 自律的でポジティブな安全衛生管理を促進
- 働く人々の安全・健康確保を通じ、企業、社会のウェルビーイング（Well-being）を実現

愛知労働局取組の歴史

2006
(H18)

リスクアセスメントの普及促進

2008
(H20)

輸送用機械器具製造業中心に推奨

2013
(H25)

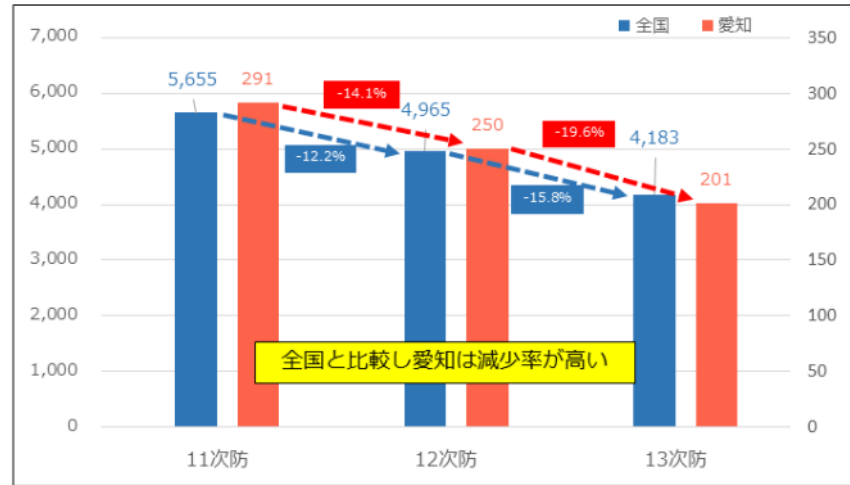
製造業全体へ推奨

2018
(H30)

全産業へ推奨

各労働災害防止推進計画期間ごとの死亡者数

(単位：人)



2023
(R5)



課題の本質

- ・ 総花的な対策による「やらされ感」
- ・ やらないと「罰せられる」負担感
- ・ マイナスをゼロにというネガティブな理解
- ・ リスクアセスメントを軸として、ポジティブにできる

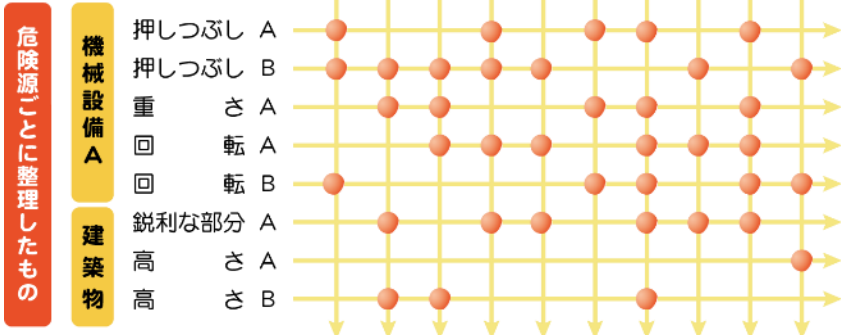
2028
(R10)

2033
(R15)

ある作業場所において

作業の種類ごとに整理したもの

作業種類	頻度	保全	保全	保全	保全	保全
A	B	C	D	E	A	B



安全経営あいち[®]とリスクアセスメント



RAは
作業と危険源との関わり調査

作業把握の重要性の納得感
ポジティブな発想への転換

災害発生のシナリオだけを掘り下げすぎる傾向

危険源と対策だけに目を奪われる傾向

ある作業場所において

作業の種類ごとに整理したもの

定常作業 A	定常作業 B	定常作業 C	低頻度 A	低頻度 B	保全全 A	保全全 B	保全全 C	保全全 D	保全全 E
--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

危険源ごとに整理したもの	機械設備 A	押しつぶし A	●	●	●	●	●	●	●
		押しつぶし B	●	●	●	●	●	●	●
	重さ	A	●	●	●	●	●	●	●
		回転 A	●	●	●	●	●	●	●
	回転 B	A	●	●	●	●	●	●	●
		B	●	●	●	●	●	●	●
	建築物	鋭利な部分 A	●	●	●	●	●	●	●
		高さ A	●	●	●	●	●	●	●
	高さ B	●	●	●	●	●	●	●	

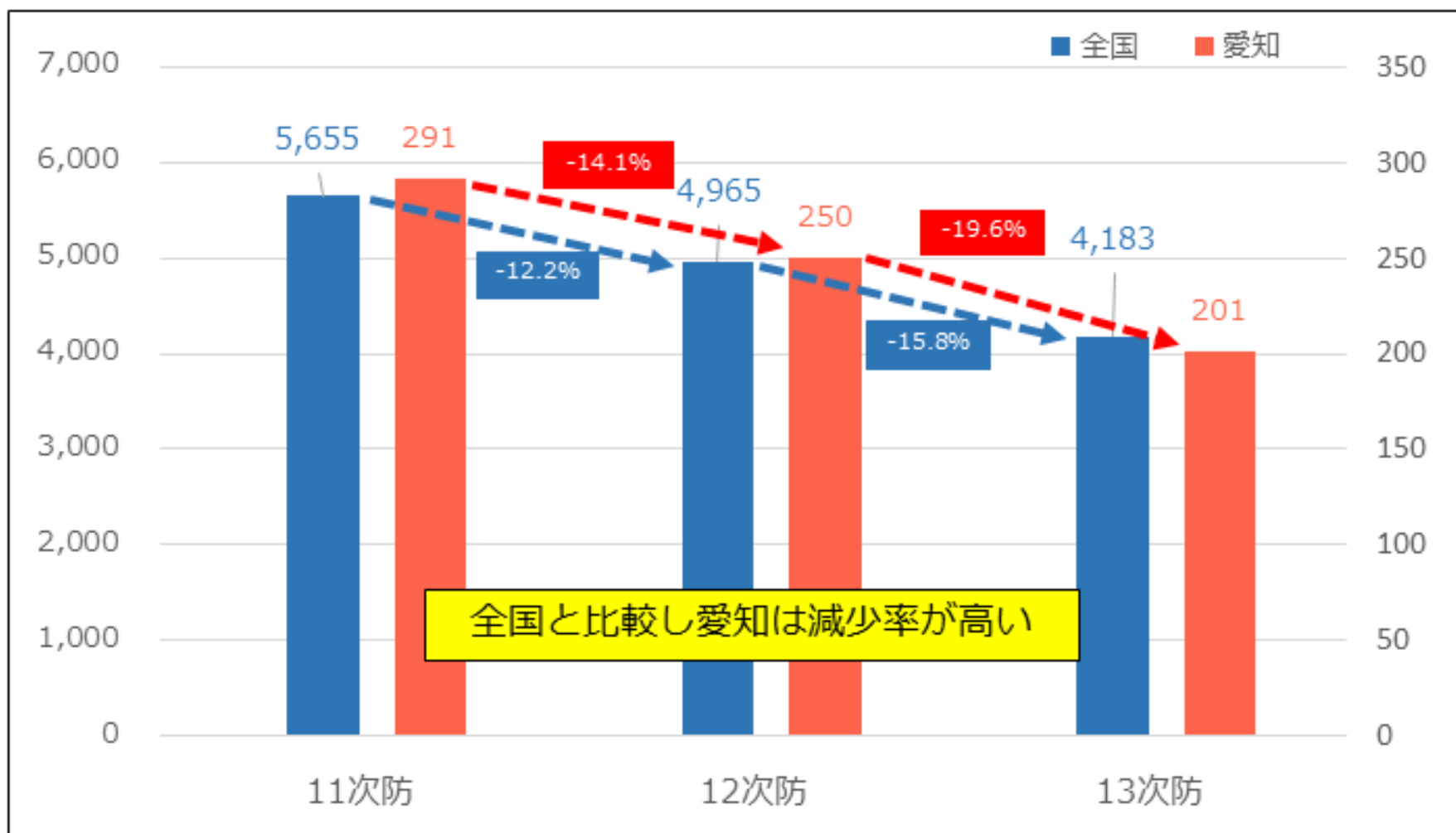


緑十字展で配布中

死亡災害の減少率

各労働災害防止推進計画期間ごとの死亡者数

(単位：人)



全国と比較し愛知は減少率が高い

PQCDSE は、モノづくりやサービス提供の7つの視点



安全経営あいち®

リスクアセスメントを通じPQCDSEはひとつにできる。

垣根を越えて

第三次産業の労働災害防止

+ Safe協議会の運営



「新たなお客様」という視点

- テーマを労災防止だけで設定しない。
- 生産性、顧客サービス等の視点を取り入れ、寄り添い型の協議会となるよう、運営方法を工夫



■ 2013年（平成25年）

小売業協議会発足（10企業）

■ 2021年（令和3年）

介護施設協議会発足（11企業）

飲食店協議会発足（11企業）

リスクアセスメント出前講座の充実

気付きに基づく (誤解された) リスクアセスメントの卒業

営業力の強化

- 行政が主体となっていく同様の集団指導と比較して、
2倍以上の参加実績
(2022年度)

□ 行政主導 1,053事業場
□ 出前講座 2,544事業場

- 同じ業種、業態の事業場向けのカスタマイズが可能



リスクアセスメントを基礎から学びましょう！

愛知労働局

■ 愛知労働局及び管下労働基準監督署では、管内事業場へのリスクアセスメント等の普及促進を図るため、「リスクアセスメント出前講座」を行います。

	集団受講 (概ね 10 事業場以上)	WEB 単独受講 (1 事業場ごと)
受講要件	<ul style="list-style-type: none"> 労働局または労働基準監督署の担当者が会場に出向き、リスクアセスメント等について説明します (講師料不要)。 講義内容への質問に担当者が応答します。 	<ul style="list-style-type: none"> 申込みいただいた事業場に、URL を通知します。リスクアセスメント等についての説明動画を、WEB にてご覧いただけます (料金不要)。 講義内容への質問は行いません。
受講準備	<ul style="list-style-type: none"> リスクアセスメントは、事業者の責において行われるものであることから、事業者がリスクアセスメントの推進に前向きであり、その意志に基づき受講されることが必要です。 講義を依頼する団体 (以下「依頼団体」といいます。) が、商工会、協同組合その他、事業者により構成される団体等であることが必要です。 受講事業場が、概ね 10 事業場以上であることが必要です。また受講事業場は、愛知県内の事業場を中心としてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 配信は YouTube で行います。YouTube を視聴可能な環境をご用意ください。 受講者を一堂に集めて受講させるか、URL を通知の上、分散して受講させるかを定め、受講のために必要な手配を行ってください。
申込み	<ul style="list-style-type: none"> 講義は、非常利目的の開催とし、90 分以上の時間を確保してください。 依頼団体において、受講者を収容できる会場及び、マイク、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード等の必要機材を手配してください。なお、プロジェクターに接続するノートパソコンは、情報洩洩防止の観点から局又は署の備品を使用します。 依頼団体において、配布資料を必要部数印刷し、当日、受講者に配布してください。資料原稿は、事前に局又は署から PDF 形式ファイルにより配付します。 	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ受講日を決めたと上で、WEB 申込みを行ってください。後日、URL を通知します。 URL の通知は、期日を決めて行っているため、申込みから間が短く場合があります。ご了承ください。

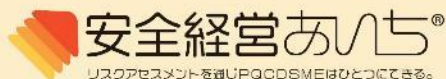
■ 様式ダウンロード・WEB 申込み等は、愛知労働局ホームページ
お問合せは、愛知労働局労働基準部安全課または所管の労働基準監督署にお問い合せ。



安全経営あいち®



安全経営あいち®賛同事業場制度



賛同事業場

登録証

安全経営あいち賛同事業場登録番号第 _____ 号

登録年月日 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

事業場名 _____

所在地 _____

安全経営あいち賛同事業場であることを証します。

愛知労働局長

本登録により、裏面「通常使用権許諾書」とおり、商標登録番号第 6662347 号及び第 6662349 号の商標権について、通常使用権を設定することを許諾します。

